

CASBEE® - 建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 (使用評価ソフト: osk_CASBEE-BD_NC_2016(v2.1))

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	大和運送本社物流センター新築工事	階数	地上3F
建設地	大阪府茨木市	構造	S造
用途地域	工業地域、準防火地域	平均居住人員	XX 人
地域区分	6地域	年間使用時間	XXX 時間/年(想定値)
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2019年5月 予定	評価の実施日	2018年10月17日
敷地面積	2,516 m ²	作成者	國吉公一
建築面積	997 m ²	確認日	
延床面積	2,766 m ²	確認者	

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.0 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

30%☆☆☆☆ 60%☆☆☆☆ 80%☆☆☆☆ 100%☆☆ 100%超:☆☆

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

0 46 (kg-CO₂/年・m²)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア = 2.6

Q1 室内環境 Q1のスコア = 0.0

音環境	N.A.
熱環境	N.A.
光・視環境	N.A.
空気質環境	N.A.

Q2 サービス性能 Q2のスコア = 3.5

機能性	N.A.
耐用性	2.9
対応性	4.0

Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア = 2.0

生物環境	2.0
まちなみ	2.0
地域性・	2.0

LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.3

LR1 エネルギー LR1のスコア = 3.7

建物外皮の	N.A.
自然エネ	3.0
設備システ	4.2
効率的	3.0

LR2 資源・マテリアル LR2のスコア = 3.1

水資源	3.4
非再生材料の	3.1
汚染物質	3.0

LR3 敷地外環境 LR3のスコア = 3.0

地球温暖化	3.6
地域環境	2.9
周辺環境	2.7

3 設計上の配慮事項		その他
総合 国道と河川に面した当敷地条件は、工業地域の中でも物流施設としての安全性や利便性を備えている。東側北側の隣地側には植栽を施したり、1階の乗用車駐車場や屋上にも芝生での緑化計画を施し、倉庫物流環境のなかでも人と車の環境をそれぞれの条件に適合するようにしっかりと周辺環境として整えている。		
Q1 室内環境 人的環境と倉庫の収納環境を明確に分けて利用している	Q2 サービス性能 空間のゆとりが配慮されている。階高が高く、空間が大きいので環境負荷が低減される。換気や吸排気空調ACIは設けない。荷重も法定の倍以上の倉庫荷重を設定している	Q3 室外環境(敷地内) トラックや車の動線効率が優先されるが、国道に面して高木を配し乗用車の駐車場は芝生の緑化をしたり、殺伐とした空間に人の動線には緑の空間を設けている。大阪府の緑化計画書届け出許可済。
LR1 エネルギー 開口部は倉庫では少なく熱負荷を低減し最低限の自然光確保している。	LR2 資源・マテリアル 鉄骨造3階建てで外皮はセメント系とALCで特に有害な材料は使っていない	LR3 敷地外環境 物流施設で、トラックの出入りや駐車施設の確保など十分な施設運用を考えている

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

大阪府建築物環境配慮評価システム2018年版 大阪府の重点評価(結果)

受付番号

H30-0091

Osakafu-新築・既存 2018V1.0

【建物概要】	建物名称	大和運送本社物流センター新築工事
	建設地	大阪府茨木市五日市1丁目231番2
	用途/区分	工場

【評価結果】	CASBEE 総合評価		B+																
①	CO2削減		4																
②	みどり・ヒート アイランド対策		2																
③	建物の断熱性		評価対象外																
④	エネルギー削減		4																
⑤	自然エネルギー直接利用		—																
	再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	<table border="1"> <tr> <td>太陽光発電</td> <td>—</td> <td>風力</td> <td>—</td> <td>地熱</td> <td>—</td> <td></td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>太陽熱利用</td> <td>—</td> <td>水力</td> <td>—</td> <td>バイオマス</td> <td>—</td> <td></td> <td>—</td> </tr> </table>	太陽光発電	—	風力	—	地熱	—		—	太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—		—	
太陽光発電	—	風力	—	地熱	—		—												
太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—		—												

	エネルギー消費量の報告	報告しない
--	-------------	-------

【評価項目】			
項目	評価内容	スコア	評価
① CO2削減	CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価	3.6	4
② みどり・ヒートアイランド対策			
生物環境の保全と創出	CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価	2.0	2
敷地内温熱環境の向上	CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価	3.0	
温熱環境悪化の改善	CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価	2.0	
③ 建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価		-
④ 設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価	4.2	4
⑤ 自然エネルギー利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価	3.0	—
エネルギー消費の実態把握に努める	エネルギー消費量の実績を3年間報告する。	報告する 報告しない	報告しない

【その他】		
	技術の名称	考慮事項
先進的技術の導入		
特に配慮した事項		